

Dell S3422DW ユーザーガイド

モニターモデル：S3422DW
規制モデル：S3422DWc



-  注意：注意は、コンピューターをより使いやすくするための重要な情報を示します。
-  警告：警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が起こりうることを示します。
-  危険：危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

Copyright © 2021 Dell Inc.またはその子会社。All rights reserved.Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc.またはその子会社の商標です。他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2021年04月

Rev. A01



目次

安全上の注意.....	6
お使いのモニターについて.....	7
パッケージ内容.....	7
製品の特徴.....	8
部品とコントロールの識別.....	10
前面ビュー.....	10
背面ビュー.....	11
側面ビュー.....	12
底面ビュー.....	12
モニターの仕様.....	14
解像度の仕様.....	15
ビデオのサポートモード.....	16
プリセットディスプレイモード.....	16
電氣的仕様.....	17
物理特性.....	18
環境特性.....	19
プラグアンドプレイ機能.....	20
LCDモニター品質とピクセルポリシー.....	20
人間工学.....	21
ディスプレイの取り扱いと移動.....	23
お手入れのガイドライン.....	24
モニターの清掃.....	24



モニターの設定	25
台を取り付ける	25
モニターの接続	26
HDMIおよびUSB 3.0ケーブルの接続	26
ケーブルを整理する	27
ケンジントン/ノーブルロックを使用してモニターを固定する(オプション)	27
台を取り外す	28
壁取り付け(オプション)	29
モニターの操作	31
モニターの電源をオンにする	31
コントロールボタンの使用	31
コントロールボタン	32
OSDコントロール	33
オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用	34
OSDメニューにアクセスする	34
メニューおよび電源ボタンのロック	45
OSD警告メッセージ	47
モニターの設定	50
最大解像度の設定	50
インターネットに繋がったDellデスクトップ、またはDellポータブルコンピューターを使用している場合	50
Dell製以外のデスクトップ、ポータブルコンピューター、グラフィックカードをご使用の場合	51
傾きおよび垂直延長を使用する	52
傾き延長	52



垂直延長	52
トラブルシューティング	53
セルフテスト	53
ビルトイン診断	55
共通の問題	57
製品固有の問題	60
付録	61
安全上の注意	61
FCC通知(米国のみ)およびその他の規制情報	61
Dellへのお問い合わせ	62
安定性の危険	63



安全上の注意

△ 警告：この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がる可能性があります。

- モニターを固い表面に置き、慎重に取り扱ってください。画面は壊れやすく、落としたり、強くぶつけたりすると損傷する可能性があります。
- モニターが、お住まいの地域で利用できるAC電源で動作するように電氣的に定格されていることを常に確認してください。
- モニターを室温に維持してください。過度の低温または高温状態は、ディスプレイの液晶に悪影響を与える可能性があります。
- モニターに激しい振動や強い衝撃を与えないでください。たとえば、モニターを車のトランク内に置かないでください。
- モニターを長期間使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- 感電を防ぐため、カバーを取り外したり、モニターの内部に触れたりしないでください。

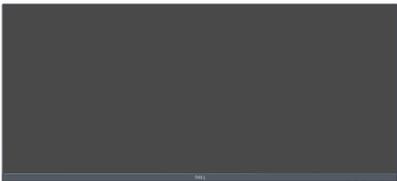


お使いのモニターについて

パッケージ内容

モニターには下記のコンポーネントが付属しています。すべてのコンポーネントが含まれていることを確認し、足りない場合は、「[Dellへのお問い合わせ](#)」をご覧ください。

 注意：一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。

	モニター
	スタンドライザー
	スタンド台
	電源ケーブル(国によって異なります)
	HDMI 2.0ケーブル



	<p>USB 3.0アップストリームケーブル（モニターのUSBポートを有効にします）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> • クイックセットアップガイド • 安全および規制情報

製品の特徴

Dell S3422DWモニターには、アクティブマトリクス方式、薄膜トランジスタ（TFT）、液晶ディスプレイ（LCD）、静電防止、LEDバックライトが搭載されています。モニターの特徴は次のとおりです。

- 86.42 cm（34.0 インチ）の表示可能領域のディスプレイ（対角で測定）。解像度 3440 x 1440、さらに低解像度の場合フルスクリーンもサポート。
- （AMD FreeSync™またはNo Sync）と互換性があり、高リフレッシュレートおよびTBC msの迅速な応答時間。
- FreeSyncモードで48 Hz～144 Hz（HDMI）および48 Hz～164 Hz（DP）をサポート。
- ビルトインスピーカー（5W） x 2
- 99% sRGBの色域。
- DPおよびHDMIを用いるデジタル接続。
- 1xUSBアップストリームポートおよび2xUSBダウンストリームポートが付属しています。
- プラグアンドプレイ機能（コンピューターでサポートされている場合）。
- 簡単な設定と画面の最適化を行うためのオンスクリーンディスプレイ（OSD）調整。
- 取り外し可能なスタンドとVESA™（ビデオエレクトロニクススタンダードアソシエーション）100mm取り付け穴により、柔軟な取り付けが可能。
- 傾きおよび高さ調整機能。
- セキュリティロックスロット。



- スタンバイモードで ≤ 0.3 W
- Dell ディスプレイマネージャーをサポート。

- ちらつき防止画面により目にとって心地よい環境を作ります。

⚠ 危険：モニターからの青色光放射の潜在的な長期的な影響により、眼の疲れ、デジタル眼精疲労などを含む、目に対する損傷を引き起こす可能性があります。ComfortView機能は、モニターから放射される青色光の量を低減し、目にとって心地よい環境を作ります。

⚠ 危険：電源コードに3ピンの接続プラグが付属している場合は、コードを接地された（アースされた）3ピンコンセントに差し込みます。たとえば、2ピンアダプタを取り付けて、電源コードの接地ピンを無効にしないでください。接地ピンは重要な安全機能です。

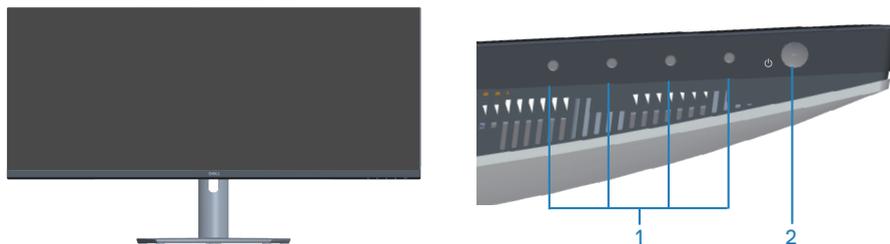
⚠ 危険：モニターからの青色光放射の潜在的な長期的な影響により、眼の疲れ、デジタル眼精疲労などを含む、目に対する損傷を引き起こす可能性があります。ComfortView機能は、モニターから放射される青色光の量を低減し、目にとって心地よい環境を作ります。

⚠ 危険：建物の設置における配電システムが定格120/240V、20A（最大）の回路ブレーカーを提供することを確認してください。



部品とコントロールの識別

前面ビュー

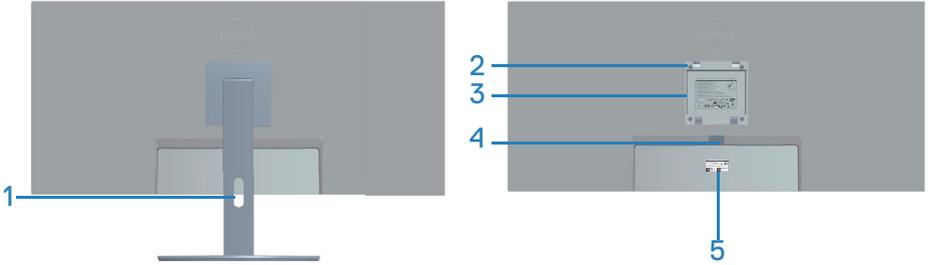


コントロールボタン

ラベル	説明	用途
1	機能ボタン	OSDメニューでアイテムを調節するには、機能ボタンを押します。（詳細については、 コントロールボタンの使用 を参照してください）
2	電源オン/オフボタン	電源ボタンを押して、モニターの電源のオン/オフを切り替えます。 白いライトが点灯しているときには、モニターがオンで正常に機能していることを示しています。 白いライトの点滅は、モニターがスタンバイモードに入っていることを示しています。



背面ビュー

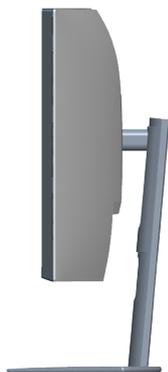


モニタースタンドを取り付けた状態の背面ビュー

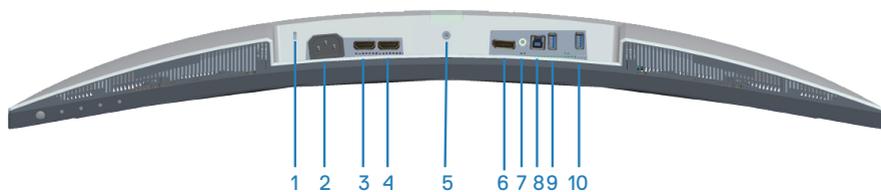
ラベル	説明	用途
1	ケーブル管理スロット	ケーブルをスロットに通して、ケーブルを整理します。
2	VESA取り付け穴 (VESAカバーの後ろ)	VESA取り付け穴 (100 mm x 100 mm)。モニターをVESA互換壁取り付けキットを通して、壁に取り付けるために使用します。
3	規制情報ラベル	規制承認を一覧表示。
4	スタンドリリースボタン	モニターからスタンドを解除。
5	規制ラベル (バーコードシリアル番号およびサービスタグラベルを含む)	規制承認を一覧表示。技術サポートを受けるためにDellに連絡する際に、このラベルを参照します。サービスタグは、Dellサポート技術者が、コンピューター内のハードウェアコンポーネントを特定し、保証情報にアクセスするためのユニークな英数字識別子です。



側面ビュー



底面ビュー



モニタースタンドを取り付けていない状態の底面ビュー

ラベル	説明	用途
1	セキュリティロックスロット	モニターの不正な動作を防止するため、セキュリティロック（別売）を使用して、モニターを固定します。
2	電源コネクタ	電源ケーブル（モニターに付属）を接続します。
3	HDMI 1 2.0ポート	HDMIケーブルを使って、コンピューターに接続します。
4	HDMI 2 2.0ポート	HDMIケーブルを使って、コンピューターに接続します。
5	スタンドロック機能	M3 x 6 mmねじ（ねじは付属しません）を使用して、モニターにスタンドをロックします。
6	DP 1.2ポート	DPケーブルを使って、コンピューターに接続します。



7	オーディオライン出力ポート	外部スピーカーまたはサブウーファー（別売）に接続します。*
8	USB 3.0アップストリームポート	USBケーブルをこのポートからコンピューターに接続し、モニターのUSBポートを有効化します。
9	USB 3.0ダウンストリームポート	ストレージデバイスおよびプリンターなどのUSB周辺装置を接続します。  注意：このケーブルを使用するには、モニターとコンピューター間にUSBアップストリームケーブル（モニターに付属）を接続する必要があります。
10	USB 3.0ダウンストリーム（BC1.2充電対応）	充電機能を搭載するUSB 3.0ダウンストリームポート。USBデバイスを充電するために接続します。

* オーディオライン出力ポートは、ヘッドフォンをサポートしていません。



モニターの仕様

モデル	S3422DW
スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
パネルタイプ	垂直調整
表示可能画像	
対角	864.2 mm (34.0インチ)
水平、アクティブエリア	797.2 mm (31.19インチ)
垂直、アクティブエリア	333.7 mm (13.14インチ)
領域	266048.26 mm ² (412.38 インチ ²)
ネイティブ解像度およびリフレッシュレート	3440 x 1440 @ 100 Hz (HDMI1およびHDMI2) 3440 x 1440 @ 100 Hz (DP)
ピクセルピッチ	0.23175 mm x 0.23175 mm
インチあたりのピクセル (PPI)	109
視野角	
水平	178° (標準値)
垂直	178° (標準値)
輝度出力	300 cd/m ² (標準値)
コントラスト比	3000:1 (標準値)
表面コーティング	硬度3Hの反射防止処理、40%のかすみ
バックライト	LEDエッジライト方式
応答時間 (グレーからグレー)	4 ms
色深度	1670万色
色域	sRGB CIE 1931 (99.7%) CIE1976 (98.8%) DCI P3 CIE 1931 (89.2%) CIE1976 (92.4%)



接続	2 x HDMI 2.0 (HDCP 2.2対応) 1 x DP 1.2ポート 1 x USB 3.0アップストリーム 1 x USB 3.0ダウンストリーム 1 x USB 3.0ダウンストリーム (BC 1.2充電対応) 1 x オーディオライン出力
ベゼルの幅 (モニターの端からアクティブエリアまで)	
上	8.64 mm
左/右	8.65 mm
下	22.14 mm
調整可能	
高さ調整可能スタンド	100 mm
傾斜	-5° ~21°
スイベル	該当なし
傾斜調整	-4° ~4°
Dellディスプレイマネージャーの互換性	Easy Arrangeおよび他の主要機能
セキュリティ	セキュリティロックスロット (ケーブルロックは別売りです)

解像度の仕様

モデル	S3422DW
水平走査範囲	30 kHzから160 kHz
垂直走査範囲	48 Hzから100 Hz (HDMI) 48 Hzから100 Hz (DP)
最大プリセット解像度	3440 x 1440 @ 100 Hz (DP) 3440 x 1440 @ 100 Hz (HDMI)



ビデオのサポートモード

モデル	S3422DW
ビデオ表示機能 (HDMI/DP)	480p、480i (HDMI) 、576p、720p、1080p、576i (HDMI) 、1080i (HDMI)

プリセットディスプレイモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極性 (水 平/垂直)
VESA、640 x 480	31.47	59.94	25.18	-/-
VESA、640 x 480	37.50	75.00	31.50	-/-
IBM、720 x 400	31.47	70.08	28.32	-/+
VESA、800 x 600	37.88	60.32	40.00	+/+
VESA、800 x 600	46.88	75.00	49.50	+/+
VESA、1024 x 768	48.36	60.00	65.00	-/-
VESA、1024 x 768	60.02	75.03	78.75	+/+
VESA、1152 x 864	67.50	75.00	108.00	+/+
VESA、1280 x 1024	63.98	60.02	108.00	+/+
VESA、1280 x 1024	79.98	75.02	135.00	+/+
VESA、1600 x 900	60.00	60.00	108.00	+/+
VESA、1600 x 1200	75.00	60.00	162.00	+/+
VESA、1680 x 1050	65.29	59.95	146.25	-/+
VESA、1920 x 1080	67.50	60.00	148.50	+/+
VESA、1920 x 1080	113.22	100.00	235.50	+/-
VESA、1920 x 1200	74.04	59.95	154.00	+/-
VESA、2560 x 1080	66.66	60.00	185.58	+/-
VESA、2560 x 1080	113.24	100.00	308.00	+/-
VESA、3440 x 1440	73.68	49.99	265.25	+/-
VESA、3440 x 1440	88.82	59.97	319.75	+/-
VESA、3440 x 1440	150.97	99.98	543.50	+/-

 注意：このモニターはAMD FreeSyncをサポートします。



電氣的仕様

モデル	S3422DW
ビデオ入力信号	HDMI 2.0 (HDCP)、各差動線路毎に600 mV、差動ペアあたり100Ω入力インピーダンス DP 1.2、各差動線路毎に600 mV、差動ペアあたり100オーム入力インピーダンス
AC入力電圧/周波数/電流	100VACから240VAC/50Hzまたは60Hz ±3Hz/1.6A (最大)
突入電流	120V : 30A (最大) 0° Cで (コールドスタート) 240V : 60A (最大) 0° Cで (コールドスタート)
電力消費	0.3 W (オフモード) ¹ 0.3 W (スタンバイモード) ¹ 32 W (オンモード) ¹ 95 W (最大) ² 39 W (Pon) ³ 122 kWh (TEC) ³

¹ EU 2019/2021およびEU 2019/2013で定義されています。

² すべてのUSBポートで最大電力負荷での最大輝度およびコントラスト設定。

³ Pon : EnergyStarテスト方法を参照して測定されたオンモードの消費電力。

TEC : EnergyStarテスト方法を参照して測定されたkWh単位の総エネルギー消費量。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を提示しています。注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては製品の性能が変わることがあります。そのような情報を更新する義務は製品にありません。そのため、電氣的な許容範囲またはそれ以外について意志決定を行うとき、本書の情報に依存しないでください。精度と完全性については、明示的にも暗示的にも何の保証もありません。



物理特性

モデル	S3422DW
シグナルケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none"> デジタル：HDMI、19ピン ユニバーサルシリアルバス：USB、9ピン
寸法（スタンド付き）	
高さ（引き伸ばし時）	489.36 mm（19.28インチ）
高さ（圧縮）	389.36 mm（15.33インチ）
幅	808.16 mm（31.82インチ）
奥行き	210 mm（8.27インチ）
寸法（スタンドなし）	
高さ	364.50 mm（14.35インチ）
幅	808.16 mm（31.82インチ）
奥行き	64.01 mm（2.52インチ）
スタンド寸法	
高さ	382.20 mm（15.05インチ）
幅	302 mm（11.90インチ）
奥行き	210 mm（8.27インチ）
重量	
重量（パッケージを含む）	14.92 kg（32.89ポンド）
重量（組み立てスタンドとケーブルを含む）	10.16 kg（22.40ポンド）
組み立てスタンドなしの重量（ケーブルなし）	6.70 kg（14.77ポンド）
組み立てスタンドの重量	3.10 kg（6.83ポンド）
フロントフレーム（ツヤあり）	黒フレーム2〜4グロス本体



環境特性

モデル	S3422DW
準拠する標準	
<ul style="list-style-type: none"> • RoHS準拠 • BFR/PVC低減モニター • ヒ素を含まないガラスと水銀を含まないパネル • エネルギーゲージにより、モニターが消費しているエネルギーレベルをリアルタイムで表示。 	
温度	
運転時	0° C~40° C (32° F~104° F)
非運転時	<ul style="list-style-type: none"> • 保管時：-20° C~60° C • 輸送時：-20° C~60° C
湿度	
運転時	10% ~ 80% (結露しない)
非運転時	<ul style="list-style-type: none"> • 保管10% ~ 90% (非結露) • 出荷10% ~ 90% (非結露)
高度	
運転時 (最大)	5,000 m (16,400フィート)
非運転時 (最大)	12,192 m (40,000 ft)
熱出力	<ul style="list-style-type: none"> • 324.3699 BTU/時間 (最大) • 129.74796 BTU/時間 (標準)



プラグアンドプレイ機能

任意のプラグアンドプレイ互換システムに、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイデータチャンネル（DDC）プロトコルを使用して、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ識別データ（EDID）を自動的に提供するため、システムによる自己設定およびモニター設定の最適化が可能です。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

LCDモニター品質とピクセルポリシー

LCDモニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。これらの固定ピクセルは見つけにくく、表示品質や使い勝手に影響しません。Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト（www.dell.com/support/monitors）を参照してください。



人間工学

△ 警告：キーボードを不適切に使用したり、長時間使用したりすると、怪我をする可能性があります。

△ 警告：モニター画面を長時間見続けると、目の疲れが生じることがあります。

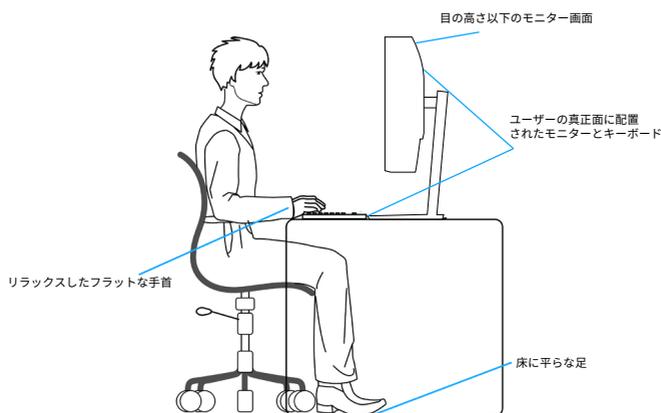
快適さと効率のために、コンピューターワークステーションをセットアップして使用するときは、

次のガイドラインに従ってください。

- 作業中にモニターとキーボードが正面に来るようにコンピューターを置いてください。キーボードを正しく配置するための特別な棚が市販されています。
- モニターを長時間使用することにより発生する眼精疲労および首/腕/背中/肩の痛みのリスクを減らすため、当社は、以下を推奨します：
 1. 目から画面までの距離を20インチから28インチ（50 cm～70 cm）間に設定します。
 2. モニターを長時間使用するときは、頻繁に瞬きをして目を潤わす、または、水で目を濡らすようにしてください。
 3. 定期的かつ頻繁に、2時間当たり20分間休憩をとります。
 4. 休憩中は、モニターから目を離し、20フィートの距離にある物体を少なくとも20秒間凝視します。
 5. 休憩中は、ストレッチを行い、首、腕、背中および肩の緊張をほぐします。
- モニターの前に座っているときは、モニター画面が目の高さまたは少し下にあることを確認してください。
- モニターの傾き、コントラスト、明るさの設定を調整してください。
- 周囲の環境照明（オーバーヘッドライト、電気スタンド、近くの窓のカーテンやブラインドなど）を調整して、モニター画面の反射とグレアを最小限に抑えてください。
- 腰をしっかりサポートする椅子を使用してください。
- キーボードまたはマウスを使用するときは、前腕を水平に保ち、手首をニュートラルで快適な位置に維持してください。
- キーボードまたはマウスを使用しているときは、常に手を休めるスペースを空けてください。



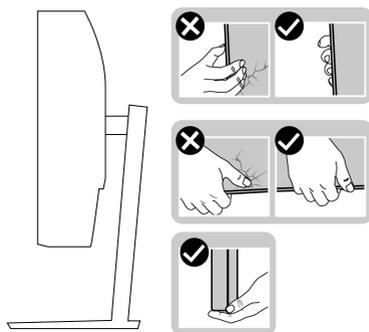
- 上腕を両側で自然に休ませてください。
- 足が床に平らに置かれていることを確認してください。
- 座っているときは、脚の重量が座席の前部ではなく、足にかかっていることを確認してください。適切な姿勢を維持する必要がある場合は、椅子の高さを調整するか、フットレストを使用してください。
- 作業活動を変化させてください。長時間座って作業する必要がないように、作業を整理してください。定期的に立ち上がって、歩き回ってください。
- 快適な座席の邪魔になったり、つまずきの危険をもたらす可能性のある障害物やケーブル、電源コードを机の下に置かないでください。



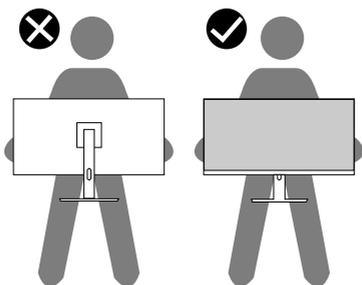
ディスプレイの取り扱いと移動

モニターを持ち上げたり移動したりするときにモニターを安全に取り扱うために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニターを移動または持ち上げる前に、コンピューターとモニターの電源を切ってください。
- モニターからすべてのケーブルを取り外してください。
- 元の梱包材を使って、モニターを元のボックスに入れてください。
- モニターを持ち上げたり移動したりするときは、モニターの下端と側面をしっかりと持ち、過度の圧力をかけないようにしてください。

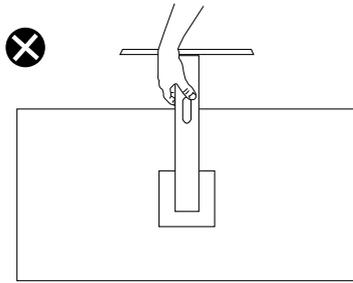


- モニターを持ち上げたり移動したりするときは、画面が自分に向いていないことを確認し、傷や損傷を避けるために表示領域を押さないでください。



- モニターを移動するときは、突然の衝撃や振動をモニターに加えないでください。
- モニターを持ち上げたり移動したりするときは、スタンドベースまたはスタンドライザーを持ってモニターを裏返しにしないでください。これにより、モニターが偶発的に損傷したり、怪我をしたりすることがあります。





お手入れのガイドライン

モニターの清掃

- ⚠ 危険：モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを抜いてください。
- ⚠ 警告：モニターを清掃する前に、[安全上の注意](#)を読んで、これに従ってください。

モニターの開梱、清掃、取り扱いの際には、次の一覧にある手順に従うことを推奨します。

- 画面を清掃するには、柔らかい清潔な布を水でわずかに湿らせます。できれば、スクリーン清掃専用のティッシュまたは静電防止コーティング専用の洗剤を使用してください。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、圧縮空気は使用しないでください。
- モニターの清掃には、軽く湿らせた布を使用します。乳状のフィルムがモニターの表面に残ることがあるので、洗剤は使用しないでください。
- モニターを開梱する際、白い粉があった場合には、布で拭いてください。
- モニターは注意して取り扱ってください。黒色のモニターは引っ掻くと白い擦り傷が残ります。
- モニターの画像品質を最高の状態に維持するために、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用しないときにはモニターの電源を切ってください。



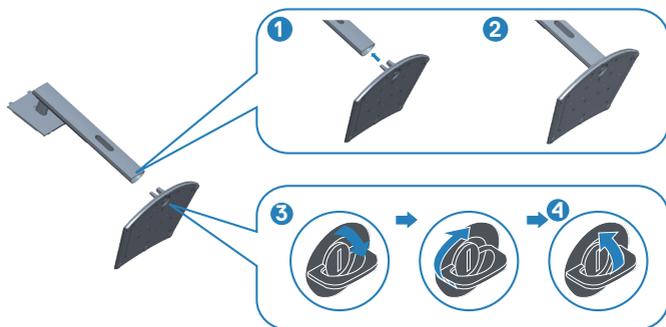
モニターの設定

台を取り付ける

- 注意：工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。
- 注意：次の手順はモニターに付属のスタンドに適用されます。サードパーティ製スタンドを接続する場合は、そのスタンドに付属の説明書を参照してください。

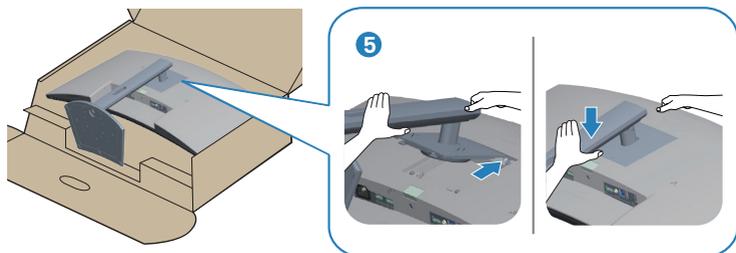
モニタースタンドを取り付けるには：

1. カートンのフラップ上の指示に従い、固定する上部クッションからスタンドを取り外します。
2. スタンドベースをスタンドライザーに接続します。
3. スタンドベースのねじハンドルを開き、ねじを締めて、スタンドライザーをスタンドベースに固定します。
4. ねじハンドルを閉じます。



5. スタンドアセンブリ上のタブをモニター上のスロットにスライドさせ、スタンドアセンブリを下に押し、所定の位置にはめ込みます。





6. モニターを真っ直ぐに置きます。

モニターの接続

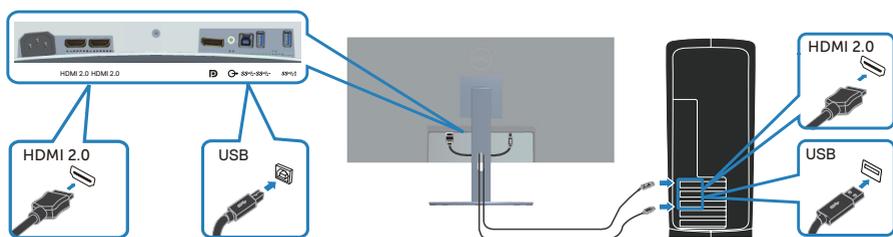
⚠ 危険：このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従ってください。

📌 注意：すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。ケーブルをモニターに接続する前に、ケーブル管理スロットに通すことをお勧めします。

モニターをコンピューターに接続するには：

1. コンピューターの電源を切り、電源ケーブルを外してください。
2. モニターからコンピューターにHDMIまたはDPケーブル（別売り）を接続してください。
3. USBアップストリームケーブル（モニター付属）をコンピューターの適切なUSB 3.0ポートに接続します。（詳細は、[底面ビュー](#)を参照してください。）
4. USB 3.0周辺機器をモニターのダウンストリームUSB 3.0ポートに接続します。

HDMIおよびUSB 3.0ケーブルの接続

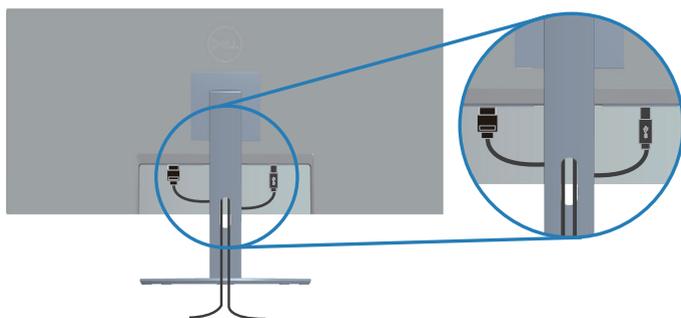


5. コンピューターとモニターの電源ケーブルをコンセントに差し込みます。



ケーブルを整理する

ケーブル管理スロットを使って、モニターに接続したケーブルを配線します。

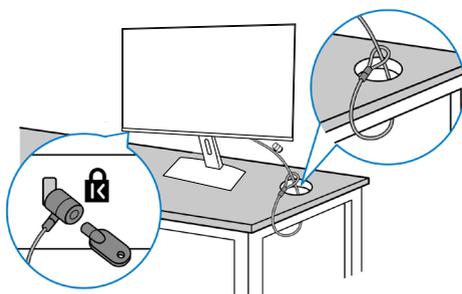


ケンジントン/ノーブルロックを使用してモニターを固定する（オプション）

セキュリティロックスロットは、モニターの下部にあります。（[セキュリティロックスロット](#)を参照してください）

ケンジントン/ノーブルロック（別売り）の使用の詳細については、ロックに付属のマニュアルを参照してください。

ケンジントン/ノーブルセキュリティロックを使用して、モニターをテーブルに固定します。



 注意：画像は説明のみを目的としています。ロックの外観は異なることがあります。

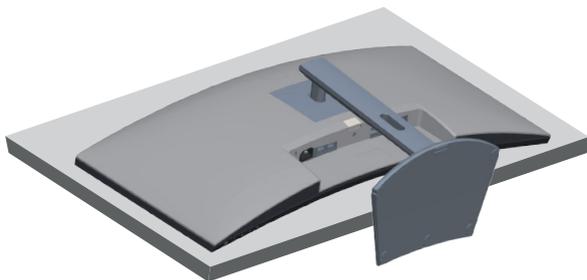


台を取り外す

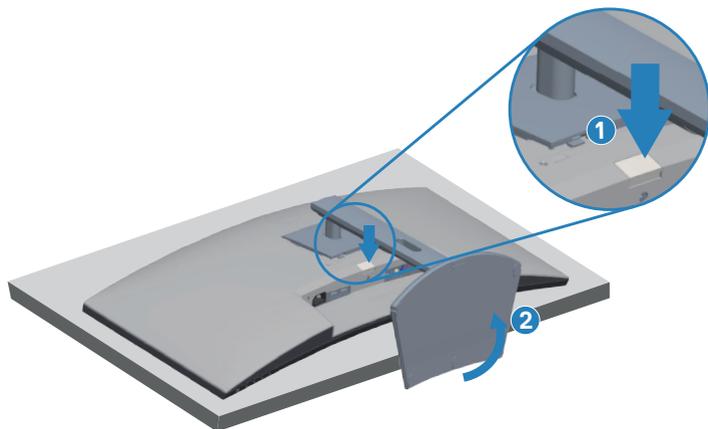
- 注意：スタンドを取り外している間に画面に傷が付かないように、モニターを柔らかい、きれいな面に置いていることを確認してください。
- 注意：次の手順はモニターに付属のスタンドにのみ適用されます。サードパーティ製スタンドを接続する場合は、そのスタンドに付属の説明書を参照してください。

スタンドを取り外すには：

1. モニターを机の端の柔らかい布またはクッションの上に置きます。

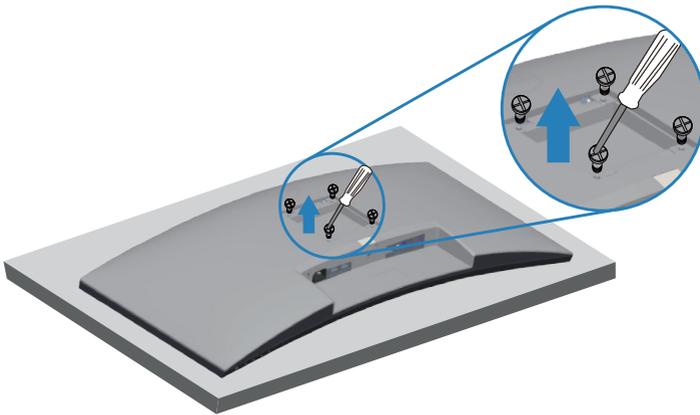


2. スタンド解除ボタンを押しながら、スタンドを持ち上げて、モニターから外します。





壁取り付け(オプション)



(ねじ寸法：M4 x 10 mm)。

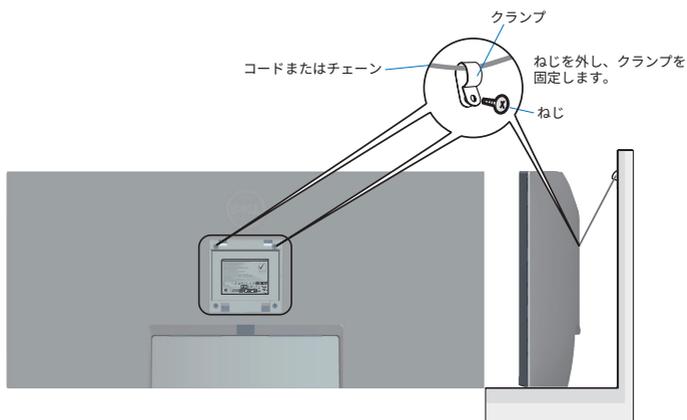
VESA互換の壁取り付けキットに付属の説明書を参照してください。

1. モニターを机の端の柔らかい布またはクッションの上に置きます。
2. 台を取り外します。詳細は、[台を取り外す](#)を参照してください。
3. パネルをモニターに固定する4本のねじを取り外します。
4. 壁取り付けキットの取り付けブラケットをモニターに取り付けます。
5. モニターを壁に取り付ける場合は、壁取り付けキットに付属の説明書を参照してください。

 **注意：**26.80 kgの最小重量/荷重負担能力のある、UL、CSAまたはGS規格認定取得済みの壁取り付けブラケットのみを使用してください。



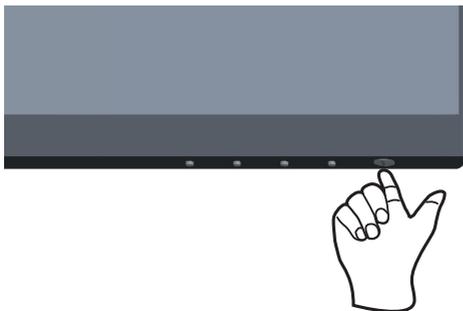
⚠ 注意：ディスプレイを使用するときは、モニターの落下を防ぐために、モニターの重量を支えることができるコードまたはチェーンを使用してLCDを壁に固定してください。設置は資格のある技術者が行う必要があります。詳細については、サプライヤにお問い合わせください。



モニター の 操作

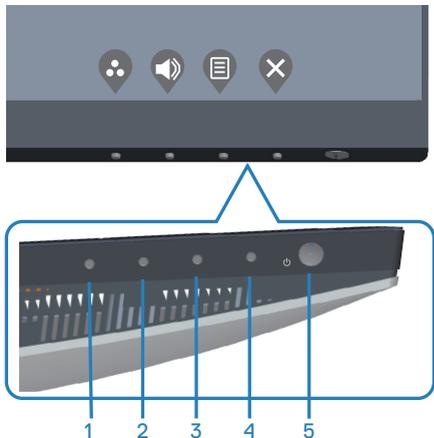
モニター の 電源 を オン に する

モニター の 電源 を 入 れ る に は ❶ ボ タ ン を 押 し ま す 。



コントロール ボ タ ン の 使 用

表 示 さ れ て い る 画 像 を 調 整 す る に は 、 モ ニ タ ー の 下 端 に あ る コ ン ト ロ ー ル ボ タ ン を 使 用 し ま す 。



コントロールボタン

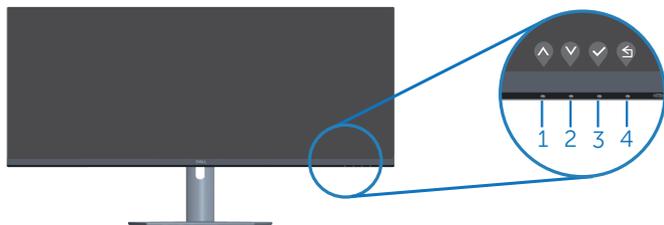
以下の表は、コントロールボタンについてまとめたものです。

コントロールボタン	説明
1  ショートカットキー/ プリセットモード	プリセットモードの一覧から選ぶには、このボタンを使用します。
2  ショートカットキー/ 入力信号	このボタンを使用し、音量を調整します。最小は0 (-) です。最大は100 (+) です。
3  メニュー	オンスクリーンディスプレイ (OSD) の起動時に、メニューボタンを使用して、OSDメニューを選択します。 OSDメニューにアクセスする を参照してください。
4  終了	このボタンを使用してメインメニューに戻るか、OSDメインメニューを終了します。
5  電源オン/オフボタン (LEDランプあり)	電源ボタンを使用して、モニターの電源のオン/オフを切り替えます。 白いライトが点灯しているときには、モニターがオンであることを示しています。白いライトの点滅は、スタンバイモードに入っていることを示しています。



OSDコントロール

画像の設定を調整するには、モニターの下部にあるボタンを使用します。



コントロールボタン	説明
1 上	メニューで値を増やしたり、上に移動したりするには、上ボタンを使用します。
2 下	メニューで値を減らしたり、下に移動したりするには、下ボタンを使用します。
3 OK	メニューで選択を確定するには、OKボタンを使用します。
4 戻る	前のメニューに戻るには、戻るボタンを使用します。

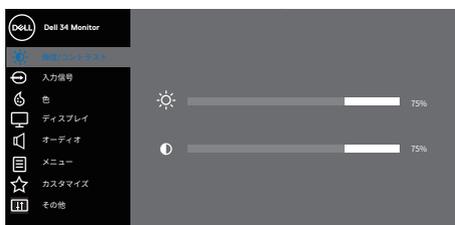


オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

OSDメニューにアクセスする

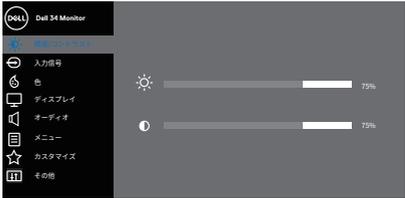
 注意：別のメニューに移動するか、OSDメニューを終了するか、OSDメニューが自動的に閉じられると、それまでの変更内容が自動的に保存されません。

1. OSDメインメニューを表示するには、 ボタンを押します。



2.  および  ボタンを押して、設定オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。
3. 、 または  ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
4.  および  ボタンを押して、目的のパラメーターを選択します。
5.  を押し、メニューのインジケーターに従って、 および  ボタンを使用して、変更を行います。
6.  を選択して、前のメニューに戻るか、 を押して承認し、前のメニューに戻ります。



アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	輝度/コントラスト	<p>このメニューを使用して、輝度とコントラストを調整します。</p>  <p style="text-align: right;">     </p>
	輝度	<p>バックライトの輝度を調整します。</p> <p>輝度を上げるには、 ボタンを押します。輝度を下げるには、 ボタンを押します（最小0/最大100）。</p>
	コントラスト	<p>まず、輝度を調整し、それでも調整が必要な場合のみコントラストを調整します。</p> <p> ボタンを押して、コントラストを上げ、 ボタンを押して、コントラストを下げます（最小0/最大100）。</p> <p>コントラストは、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。</p>



	<p>入力信号</p>	<p>モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、入力信号メニューを使用します。</p>  <p style="text-align: right;">     </p>
	<p>DP</p>	<p>DPコネクターを使用している場合は、DP入力を選択します。を押して、DP入力信号を選択します。</p>
	<p>HDMI 1</p>	<p>HDMI 1コネクターを使用している場合は、HDMI 1入力を選択します。を押して、HDMI入力ソースを選択します。</p>
	<p>HDMI 2</p>	<p>HDMI 2コネクターを使用している場合は、HDMI 2入力を選択します。を押して、HDMI入力ソースを選択します。</p>
	<p>自動選択</p>	<p>利用可能な入力信号をスキャンするには自動選択を選択します。</p>
	<p>入力信号のリセット</p>	<p>デフォルトの入力信号に戻すには、このオプションを選択します。</p>
	<p>色</p>	<p>色設定モードを変更します。</p>  <p style="text-align: right;">     </p>



プリセットモード

プリセットモードを使用すると、リストから、標準 Comfortview、ムービー、FPS Game(FPSゲーム)、RTS Game(RTSゲーム)、RPG Game(RPGゲーム)、暖色、寒色、または、ユーザーカラーを選択できます。

- 標準：モニターのデフォルトカラー設定を読み込みます。これはデフォルトのプリセットモードです。

- ComfortView：画面から放射される青色光レベルを低減し、目のために、より快適に閲覧できるようします。

 **注意：**モニターを長時間使用することにより発生する眼精疲労および首/腕/背中/肩の痛みのリスクを減らすため、当社は、以下を推奨します：

- 目から50～70 cm (20～28インチ) 離して、画面を設定してください。
- モニターを使って作業するときは、頻繁に瞬きをして、目を潤わす、または、濡らしてください。
- 定期的かつ頻繁に、2時間当たり20分間休憩をとります。
- 休憩中は、モニターから目を離し、20フィートの距離にある物体を少なくとも20秒間凝視します。
- 休憩中は、ストレッチを行い、首/腕/背中/肩の緊張をほぐします。
- ムービー：ムービーに適したカラー設定を読み込みます。
- FPS Game(FPSゲーム)：一人称視点シューティングゲームに最適なカラー設定を読み込みます。
- RTS Game(RTSゲーム)：リアルタイム戦略ゲームに最適なカラー設定を読み込みます。
- RPG Game(RPGゲーム)：ロールプレイングゲームに最適なカラー設定を読み込みます。
- 暖色：色温度を上げます。画面は赤/黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。
- 寒色：色温度を下げます。画面は青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- ユーザーカラー：手動でカラー設定を調整することができます。



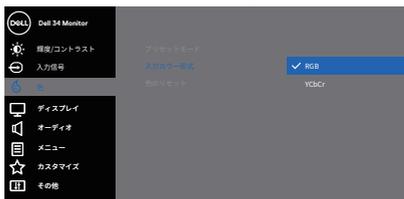
▲ ボタンと ▼ ボタンを押して3つの色（R、G、B）値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。



入力カラー形式

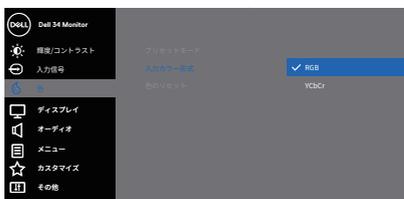
ビデオ入力モードを以下に設定可能です。

- RGB：モニターがRGB出力をサポートするコンピューターまたはメディアプレーヤーに接続されている場合は、このオプションを選択します。
- YCbCr/YPbPr*：お使いのメディアプレーヤーがYCbCr/YPbPr出力のみをサポートしている場合にこのオプションを選択します。



* VGA入力を選択した場合。

- RGB：モニターがRGB出力をサポートするコンピューターまたはメディアプレーヤーに接続されている場合は、このオプションを選択します。
- YCbCr：お使いのメディアプレーヤーがYCbCr出力のみをサポートしている場合は、このオプションを選択します。



	色相	<p>この機能を使用して、ビデオ画像の肌の色を調整します。▲または▼を押して、色相を0～100の範囲で調整します。</p> <p>▲を押すと、ビデオ画像の緑の影が増加します。 .</p> <p>▼を押すと、ビデオ画像の紫の影が増加します。</p> <p> 注意：色相の調整は、ムービーおよびゲームモードを選択している場合にのみ使用できます。</p>
	彩度	<p>この機能を使用して、ビデオ画像の色の彩度を調整できます。▲または▼を使用して、彩度を0～100の範囲で調整します。</p> <p>▲を押すと、ビデオ画像のモノクロの外見が増加します。</p> <p>▼を押すと、ビデオ画像のカラーが外見が増加します。</p> <p> 注意：彩度の調整は、ムービーおよびゲームモードを選択している場合にのみ使用できます。</p>
	色のリセット	<p>モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。</p>
	ディスプレイ	<p>ディスプレイを使用して画像を調整します。</p> <div data-bbox="520 805 927 1007" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">  </div> <p style="text-align: right;">▲ ▼ ▶ ✕</p>
	アスペクト比	<p>画像比をワイド21:9、自動サイズ変更、4:3または1:1に調整します</p>
	シャープネス	<p>これは画像をシャープまたはソフトにする機能です。▲または▼を押して、シャープネスを0～100の範囲で調整します。</p>
	応答時間	<p>応答時間（通常、高速または最速）を選択します。</p>
	画面のリセット	<p>このオプションを選択し、デフォルトのディスプレイ設定に戻します。</p>



	<p>オーディオ</p>	<p>オーディオ設定を変更します。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ▶ ✕</p>
	<p>音量</p>	<p>このボタンを押して、音量を調整します。最小は0 (-) です。最大は100 (+) です。</p>
	<p>スピーカー</p>	<p>このオプションを選択して、スピーカーをアクティブにします。</p>
	<p>オーディオのリセット</p>	<p>このオプションを選択し、デフォルトのディスプレイ設定に戻します。</p>
	<p>メニュー</p>	<p>OSDの言語、画面にメニューが表示される時間など、OSD設定を調整するにはこのオプションを選択します。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ▶ ✕</p> <p>言語</p> <p>OSDディスプレイの言語オプション（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、または日本語）を設定します。</p> <p>透明度</p> <p>▲または▼を押して、透明度を0～100の範囲で調整します。</p> <p>タイマー</p> <p>OSD保持時間: ボタンを最後に押してからOSDが有効になっている時間の長さを設定します。</p> <p>▲または▼を押して、スライダーを5～60秒まで、1秒刻みで調整します。</p> <p>ロック</p> <p>ユーザーが調整にアクセスすることを制御します。ユーザーは、メニューボタン、電源ボタン、メニュー+電源ボタン、オフのいずれかを選択できます。</p> <p>メニューのリセット</p> <p>すべてのOSD設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。</p>





カスタマイズ

このオプションを選択して、カスタマイズ設定を調整します。



ショートカット キー1

次の（プリセットモード、輝度/コントラスト、入力信号、アスペクト比、音量）の中からいずれかを選択して、ショートカットキー1を設定できます。



ショートカット キー2

次の（プリセットモード、輝度/コントラスト、入力信号、アスペクト比、音量）の中からいずれかを選択して、ショートカットキー2を設定できます。



<p>LED電源ボタン</p>	<p>電源LEDランプをオンモード時はオンまたはオンモード時はオフに設定して、エネルギーを節約します。</p>  <p style="text-align: right;">↑ ↓ ✓ ↻</p>
<p>USB</p>	<p>モニタースタンバイモード時に、USB機能を有効または無効に切り替えます。</p>  <p style="text-align: right;">↑ ↓ ✓ ↻</p>
<p>カスタマイズの リセット</p>	<p>カスタマイズメニュー下のすべての設定をデフォルト設定にリセットします。</p>





その他

DDC/CI、LCDコンディショニングなどのOSD設定を変更します。



ディスプレイ情報

モニターの現在の設定を表示します。



DDC/CI

DDC/CI（ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス）により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター（輝度、色バランスなど）を調整できます。

オフを選択することで、この機能を無効にできます。オンを選択し、この機能を有効化することで、ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にすることができます。



LCDコンディショニング

この機能により、残像の軽微な問題を低減することができます。残像の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。LCDコンディショニングを開始するには、オンを選択します。



ファームウェア	ディスプレイに関するファームウェアのバージョンを表示します。
サービスタグ	ディスプレイのサービスタグ番号を表示します。サービスタグは、Dellが、製品仕様を特定し、保証情報にアクセスするためのユニークな英数字識別子です。  注意：また、サービスタグは、カバーの背面にあるラベルに印刷されています。
他をリセット	その他の設定メニューですべての設定を初期値に戻します。
工場リセット	すべてのプリセット値を工場出荷時デフォルト設定に復元します。

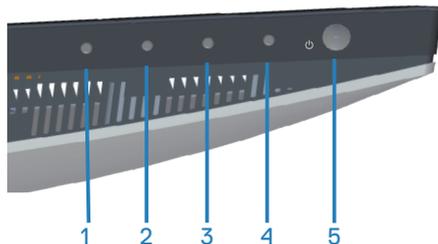
 注意：このモニターには自動的に輝度を調整してLEDの経年変化を補正する機能が内蔵されています。



メニューおよび電源ボタンのロック

ユーザーがディスプレイ上のOSDメニュー設定にアクセスまたは変更できないようにします。

デフォルトでは、メニューおよび電源ボタンのロックはオフです。



ロックメニューにアクセスするには、終了ボタン（ボタン4）を4秒間押し続けます。ディスプレイの右下隅にロックメニューが表示されます。

注意：メニューボタンと電源ボタンがロック解除状態のときに、この方法を使用してロックメニューにアクセスできます。



ロック解除メニューにアクセスするには、終了ボタン（ボタン4）を4秒間押し続けます。ディスプレイの右下隅にロック解除メニューが表示されます。

注意：メニューボタンと電源ボタンがロック状態のときにロック解除メニューにアクセスできます。



3つのロックオプションがあります。

	メニュー	説明
1	メニューボタン 	メニューボタンを選択した場合、OSDメニューの設定は変更できません。電源ボタン以外のすべてのボタンがロックされます。
2	電源ボタン 	電源ボタンを選択した場合、電源ボタンを使用してディスプレイをオフにすることはできません。
3	メニュー+電源ボタン 	メニュー+電源ボタンを選択すると、OSDメニュー設定を変更できず、電源ボタンがロックされます。
4	ビルトイン診断 	詳細については、 ビルトイン診断 を参照してください。

 **注意：**ロックまたはロック解除メニューにアクセスするには、終了ボタン（ボタン4）を4秒間押し続けます。

次のシナリオでは、アイコンがディスプレイの中央に表示されます。

- 上ボタン（ボタン1）、下ボタン（ボタン2）、メニューボタン（ボタン3）、または終了ボタン（ボタン4）が押されたとき。これは、OSDメニューボタンがロック状態にあることを示しています。
- 電源ボタン（ボタン5）が押されたとき。これは電源ボタンがロック状態にあることを示しています。
- 5つのボタンのいずれかが押されたとき。これはOSDメニューボタンと電源ボタンがロック状態にあることを示しています。

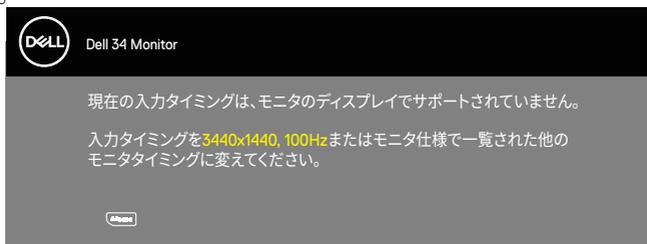
OSDメニューと電源ボタンのロックを解除する：

1. 終了ボタン（ボタン4）を4秒間押し続けます。ロック解除メニューが表示されます。
2. ロック解除アイコンを選択して、ディスプレイ上のボタンのロックを解除します。



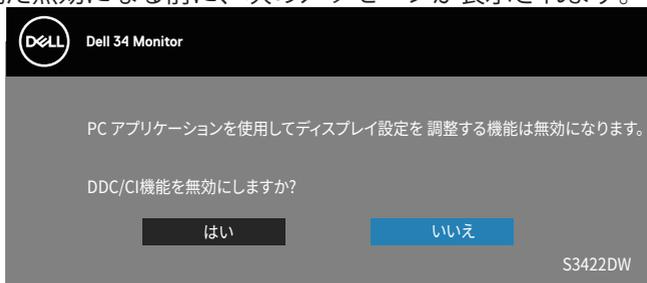
OSD警告メッセージ

モニターが特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されます。

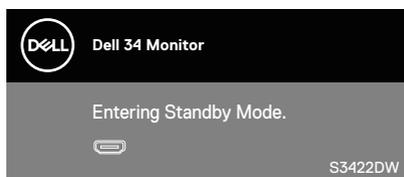


これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが対応している水平および垂直周波数範囲については、「[モニターの仕様](#)」を参照してください。推奨モードは3440 x 1440です。

DDC/CI機能を無効になる前に、次のメッセージが表示されます。

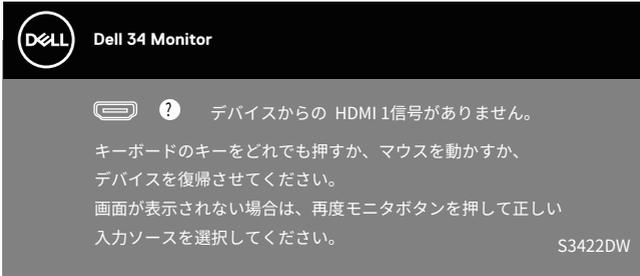


モニターがStandby Mode（スタンバイモード）に入る際には、次のメッセージが表示されます。



電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のメッセージが表示されます。





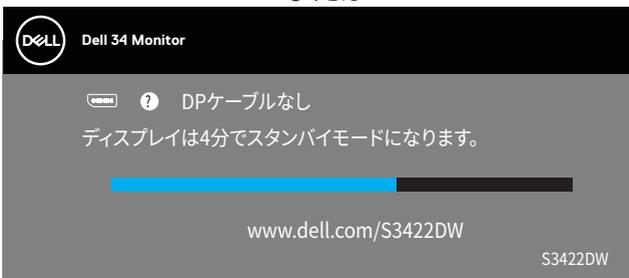
HDMIまたはDPケーブルが接続されていない場合、下の画像のようなフローティングダイアログボックスが表示されます。この状態が続くと、モニターは4分後にStandby Mode（スタンバイモード）に入ります。



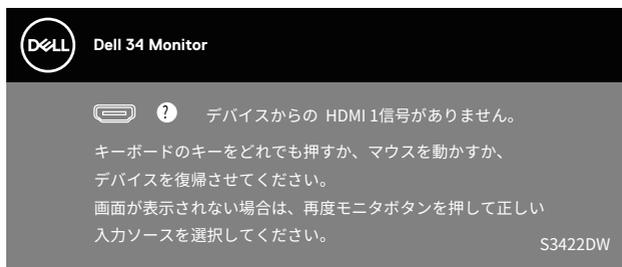
または



または



OSDは、通常動作モードでのみ機能します。アクティブオフモードで任意のボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。



OSDにアクセスするには、コンピューターとモニターをアクティブにします。

詳細については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。



モニターの設定

最大解像度の設定

モニターを最大解像度に設定するには：

Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10の場合：

1. Windows8とWindows8.1の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップを右クリックし、Screen Resolution（画面解像度）をクリックします。
3. 画面解像度のドロップダウンリストをクリックし、3440 x 1440を選択します。
4. OKをクリックします。

オプションとして3440 x 1440が表示されない場合、グラフィックドライバーを更新する必要があります。お使いのコンピューターによって、次の手順のいずれかを完了します。

Dellデスクトップまたはポータブルコンピューターをお使いの場合：

- www.dell.com/supportにアクセスし、コンピューターのサービスタグを入力して、グラフィックカード用の最新ドライバーをダウンロードします。

Dell以外のコンピューター（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

- お使いのコンピューターのサポートサイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。
- お使いのグラフィックカードのWebサイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。

インターネットに繋がったDellデスクトップ、またはDellポータブルコンピューターを使用している場合

- www.dell.com/supportにアクセスし、サービスタグを入力して、グラフィックカード用の最新ドライバーをダウンロードします。
5. グラフィックアダプター用ドライバーをインストールした後、解像度を再び3440 x 1440に設定してみてください。

 **注意：**解像度を3440 x 1440に設定できない場合、Dellに連絡し、これらの解像度をサポートするグラフィックアダプターについてお尋ねください。



Dell製以外のデスクトップ、ポータブルコンピューター、グラフィックカード
をご使用の場合

Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10の場合：

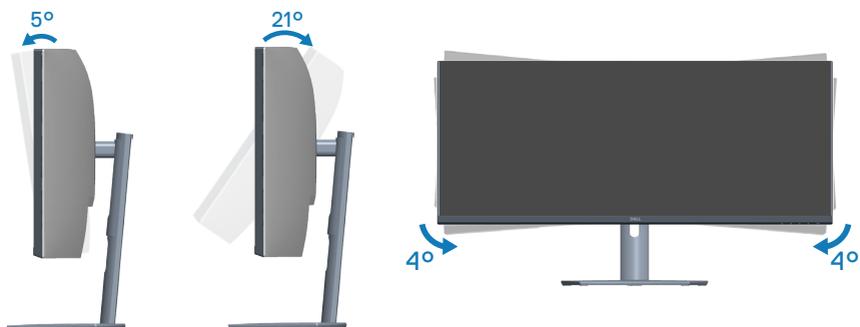
1. Windows8とWindows8.1の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップを右クリックし、Personalization（個人用設定）をクリックします。
3. Change Display Settings（ディスプレイ設定の変更）をクリックします。
4. Advanced Settings（詳細設定）をクリックします。
5. ウィンドウの一番上にある説明から、グラフィックコントローラーのメーカーを特定します（例：NVIDIA、ATI、Intelなど）。
6. グラフィックカード製造業者のWebサイトへ行き、更新されたドライバーを見つけます（例えば、www.ATI.comまたはwww.AMD.com）。
7. グラフィックアダプター用ドライバーをインストールした後、解像度を再び3440 x 1440に設定してみてください。



傾きおよび垂直延長を使用する

- 注意：これらの値は、モニターに付属のスタンドに適用されます。他のスタンドをセットアップする場合は、そのスタンドに付属の説明書を参照してください。

傾き延長



- 注意：工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。
- 注意：このモニターの傾斜角度は-4° から+4° の間であり、ピボット動作はできません。

垂直延長

- 注意：スタンドは垂直に最大100 mm伸ばすことができます。



トラブルシューティング

⚠ 危険：このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従ってください。

セルフテスト

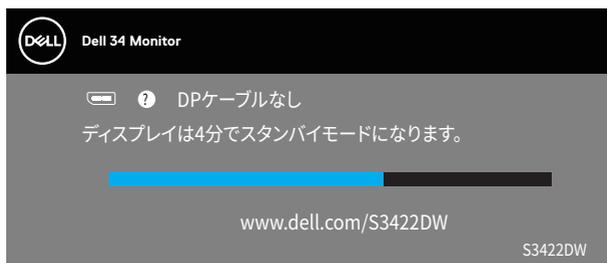
モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかをチェックできるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

1. コンピューターとモニターの両方の電源を切ります。
2. モニターからすべてのビデオケーブルを取り外します。ケーブルを外すことで、コンピューターがこのセルフテストに関わらなくなります。
3. モニターの電源を入れます。

モニターが正しく機能している場合、信号がないことが検出され、次のいずれかのメッセージが表示されます。セルフテストモードの間、電源LEDは白のまま点灯します。



または



注意：このボックスは、通常のシステム操作時にも、ビデオケーブルが切断または破損した場合に表示されます。



4. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの電源を入れます。

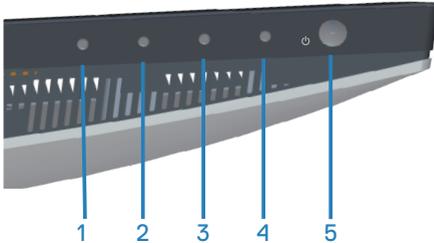
ケーブルを再接続してもモニターに何も映らなければ、ビデオコントローラーとコンピューターを確認してください。



ビルトイン診断

モニターにはビルトイン診断ツールがあり、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定するために役立ちます。

 **注意：**ビデオケーブルが抜かれ、モニターはセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。



ビルトイン診断を実行するには：

1. 画面が汚れていないことを確認します（画面の表面に埃がないこと）。
2. コンピューターまたはモニターの裏側からビデオケーブルを抜きます。モニターはセルフテストモードに入ります。
3. 終了ボタン（ボタン4）を4秒間押し続けて、OSDロック/ロック解除メニューに入ります。





4.  アイコンを選択して、ビルトイン診断を有効にします。
5. 注意して画面の異常を調べます。
6. もう一度、背面カバーの上ボタン（ボタン1）を押します。画面の色が灰色に変わります。
7. ディスプレイに異常がないか調べます。
8. ステップ6と7を繰り返し、赤、緑、青、黒、白、テキストパターン画面で表示を調査します。

テキストパターン画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度上ボタン（ボタン1）を押します。

ビルトイン診断ツールを使用して画面の異常を検出できない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピューターを調べてください。



共通の問題

次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

一般的な症状	可能な解決策
ビデオなし/電源LEDがオフ	<ul style="list-style-type: none">• モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。• 他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。• 電源ボタンが押されていることを確認します。• 入力信号メニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ビデオなし/電源LEDがオン	<ul style="list-style-type: none">• OSDを利用し、輝度とコントラストコントロールを上げます。• モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。• ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。• ビルトイン診断を実行します。• 入力信号メニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
焦点がおかしい	<ul style="list-style-type: none">• ビデオ延長ケーブルを取り除きます。• モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。• ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。
揺れ/不安定なビデオ	<ul style="list-style-type: none">• モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。• 環境要因をチェックします。• モニターを移動させ、別の部屋でテストします。
ピクセル抜け	<ul style="list-style-type: none">• 電源を入れ直します。• 常にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。• Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト： www.dell.com/support/monitorsを参照してください。



常時点灯ピクセル	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直します。 常にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。 Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト： www.dell.com/support/monitorsを参照してください。
輝度の問題	<ul style="list-style-type: none"> モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 OSDで輝度とコントラストコントロールを調整します。
幾何学的歪み	<ul style="list-style-type: none"> モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 OSDで水平方向と垂直方向のコントロールを調整します。
水平/垂直ライン	<ul style="list-style-type: none"> モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの線がセルフテストモードでも存在するかどうか確かめます。 ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 ビルトイン診断を実行します。
同期の問題	<ul style="list-style-type: none"> モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの乱れた画面がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。 ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 コンピューターをセーフモードで再起動します。
安全関連の問題	<ul style="list-style-type: none"> どんな問題解決手段も実行してはいけません。 Dellにすぐにご連絡ください。



断続的な問題	<ul style="list-style-type: none"> • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 • モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。
色が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。 • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。
色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> • 色設定OSDで、異なるプリセットモードを試みます。色設定OSDのユーザーカラーで、R/G/B値を調整します。 • 色設定OSDで、入力カラー形式をRGBまたはYCbCrに変更します。 • ビルトイン診断を実行します。
静止画像を長時間モニターに映していたことによる画像の残像	<ul style="list-style-type: none"> • 画面のアイドル時間の数分後に画面がオフになるように設定します。これらは、Windowsの電源オプションまたはMacの省エネルギー設定で調整できます。 • または、動的に変化するスクリーンセーバーを使用してください。
ビデオのゴースト発生またはオーバーシュート	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイOSDの応答時間を通常、高速または最速に変更します。



製品固有の問題

固有の症状	可能な解決策
画面の画像が小さすぎる	<ul style="list-style-type: none">• ディスプレイOSDで、アスペクト比設定を確認します。• モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。
パネルの下部にあるボタンを使用してモニターを調整できない	<ul style="list-style-type: none">• モニターの電源を切り、電源コードを抜き、もう一度差し、モニターの電源を入れます。• OSDメニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合、メニューボタンを6秒間押し、ロックを解除します。
ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし	<ul style="list-style-type: none">• 信号ソースを確認します。マウスを動かすかキーボードのいずれかのキーを押して、コンピューターが待機またはスリープモードにないかを確認します。• ビデオケーブルが正しく差し込まれているかどうかを確認してください。必要に応じて、ビデオケーブルを差し込み直してください。• コンピューターまたはビデオプレイヤーをリセットします。
画像が全画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">• DVDの異なるビデオ形式（アスペクト比）のため、モニターは全画面表示しません。• ビルトイン診断を実行します。



付録

安全上の注意

⚠ 危険：この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がることがあります。

安全上の注意については、安全、環境、規制情報（SERI）を参照してください。

FCC通知（米国のみ）およびその他の規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、規制コンプライアンスWebサイト（www.dell.com/regulatory_compliance）を参照してください。

最高性能を達成し、モニターの寿命を延ばすために、以下の安全上の注意を遵守してください。

1. 壁コンセントは装置の近くに設置し、簡単にアクセスできるようにしてください。
2. 装置を壁または水平位置の天井に設置してください。
3. モニターには三つ叉接地プラグ（3本目のアースピンの付いたプラグ）が付属しています。
4. 本製品の近くで水を使用しないでください。
5. これらの注意事項を良くお読みください。将来参照できるよう、本書を保管してください。製品上に記載されたすべての警告および注意事項を遵守してください。
6. イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧により、聴力障害が発生する可能性があります。イコライザーを最大に調整すると、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し、音圧レベルが増大します。



Dellへのお問い合わせ

米国内のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお電話ください。

 **注意：**有効なインターネット接続がない場合には、連絡情報は仕入送り状、荷造伝票、請求書、Dell製品カタログに掲載されています。

Dellでは複数のオンライン、電話によるサポートとサービスオプションを提供しています。国や製品によってサービスが利用できるかどうか異なります。また、一部のサービスはお住まいの地域では提供していないことがあります。

オンラインのモニターサポートコンテンツを入手するには、以下の手順に従います。

1. www.dell.com/support/monitorsにアクセスしてください。

販売、技術サービス、顧客サービスについてDellに連絡する場合は、下記にお問い合わせください。

1. www.dell.com/supportにアクセスしてください。
2. ページの一番下のChoose A Country/Region (国/地域の選択) ドロップダウンメニューから、お住まいの国または地域を確認します。
3. ページの左側にあるContact Us (お問い合わせ) をクリックします。
4. 適切なサービスまたはサポートリンクを必要に応じて選択します。
5. 希望するDellへの連絡方法を選択します。

エネルギーラベルと製品情報シートのEU製品データベース

S3422DW : <https://eprel.ec.europa.eu/qr/428231>



安定性の危険。

製品が落下し、重大な人身事故または死亡事故を引き起こす可能性があります。怪我を防ぐために、この製品は設置手順に従って床/壁にしっかりと取り付けする必要があります。

製品が落下し、重大な人身事故または死亡事故を引き起こす可能性があります。特に子供に対する多くの怪我は、次のような簡単な予防策を講じることで回避できます。

常に、製品セットの製造元が推奨するキャビネットまたはスタンドまたは設置方法を使用してください。

常に、製品を安全に支えることができる家具を使用してください。

常に、製品がサポート家具の端からはみ出していないことを確認してください。

常に、製品またはそのコントロールに到達するために家具に登る危険性について子供たちを教育してください。

常に、製品に接続されているコードやケーブルは、つまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように、配線してください。

不安定な場所に製品を置かないでください。

家具と製品の両方を適切なサポートに固定せずに、製品を背の高い家具（食器棚や本棚など）に置かないでください。

製品とサポート家具の間にある可能性のある布やその他の素材の上に製品を置かないでください。

おもちゃやリモコンなど、子供が登ってとろうとする可能性のあるものを、製品や製品が置かれている家具の上に置かないでください。

既存の製品を保持および再配置する場合は、上記と同じ考慮事項を適用する必要があります。



安定性に関する危険

製品が落下し、重大な人身事故または死亡事故を引き起こす可能性があります。怪我を防ぐために、この製品は設置手順に従って床 / 壁にしっかりと取り付ける必要があります。

製品が落下し、重大な人身事故または死亡事故を引き起こす可能性があります。特に子供に対する多くの怪我は、次のような簡単な予防策を講じることで回避できます。

常に、製品セットのメーカーが推奨するキャビネット、スタンドまたは設置方法を使用してください。

常に、製品を安全に支えることができる家具を使用してください。

常に、製品がサポート家具の端からはみ出していないことを確認してください。

常に、製品またはそのコントロールに到達するために家具に登る危険性について子供たちを教育してください。

製品に接続されているコードやケーブルは、つまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように、常に配線してください。

不安定な場所に製品を配置しないでください。

家具と製品の両方を適切なサポートに固定せずに、製品を背の高い家具（食器棚や本棚など）の上に配置しないでください。

製品とサポート家具の間にある可能性のある布やその他の素材の上に製品を配置しないでください。

おもちゃやリモコンなど、子供に登りたくなるようなものを、製品や製品が置かれている家具の上に置かないでください。

既存の製品を保持および再配置する場合は、上記と同じ考慮事項を適用してください。

